



第3期事業報告書

2022.1~2022.12 / 2023.1~2023.3



2022.1~2023.3

運営・管理 彦根子どもサポートネットワーク

助成支援

大和証券福祉財団



城東小学区青少年育成協議会

その他支援



各体験 彦根銀座商店街
受け入れ先 各店舗

開催日数・人数など

開催回数 **57回**
(2022.1~2023.3)
※1年間の開催日数47回

児童・生徒の部

登録児童数 **32名** **+7名**
(2022.1~2023.3)

平均参加者数 **6人**
(2022.1~2023.3)

のべ参加者数 **352人**
(2022.1~2023.3)

スタッフの部

登録スタッフ数 **18名** **+7名**
(2022.1~2023.3)

平均参加者数 **4人**
(2022.1~2023.3)

のべ参加者数 **164人**
(2022.1~2023.3)

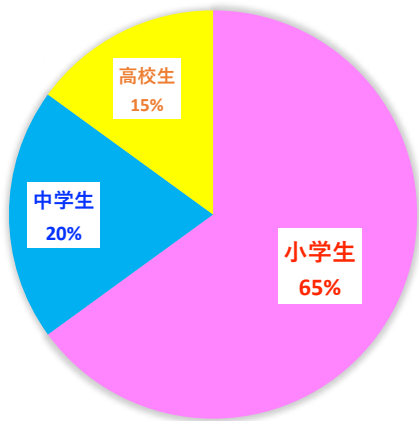


児童生徒内訳

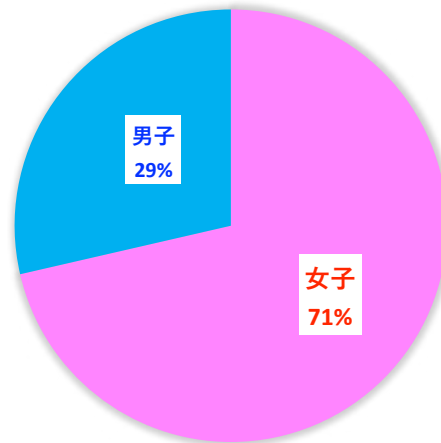
※2022年内で定期的な参加がある児童生徒・学生のみ

※未就学児・小学生・中学生・高校生が対象

学校別



男女別



内訳詳細

子ども	合計	21	中学生	合計	4
	男子	6		男子	2
%	29.%		%	50.%	
女子	15		女子	2	
%	71.%		%	50.%	
未就学	1		1年生	2	
小学生	13		2年生	2	
中学生	4		3年生	0	
高校生	3				
			小学生	合計	3
			男子	1	
			%	33.%	
			女子	2	
			%	67.%	
			1年生	1	
			2年生	0	
			3年生	2	
			小学生	合計	13
			男子	3	
			%	23.%	
			女子	10	
			%	77.%	
			1年生	2	
			2年生	0	
			3年生	8	
			4年生	0	
			5年生	0	
			6年生	3	

内訳について

○友達つながりで来ることが多く、学校・学年・性別に一定程度、偏りがあった。

○小学生が最も多く、特に3年生の参加が多い。1年生の男子、3年生の女子、6年生が多い。2・4・5年生の参加はなかった。

○中学生は1名が新規加入後、2年生男子の参加が多かった。

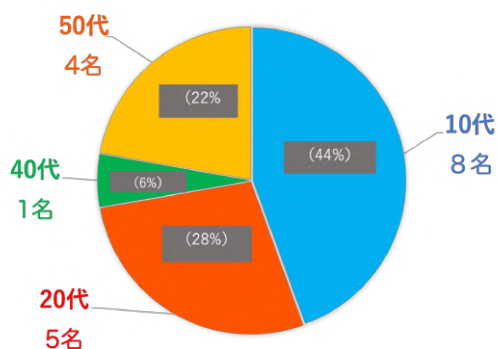
○ほぼ全員が彦根市の城東小学区内（彦根市立東中学校区内）から通っている。1名学区外（彦根市内）から通っている。



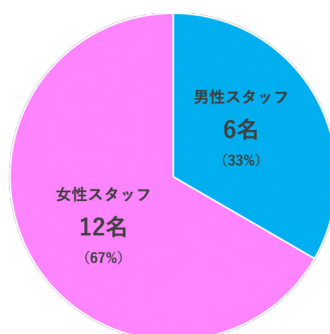
スタッフ内訳

※高校生・大学生・社会人の登録者が対象

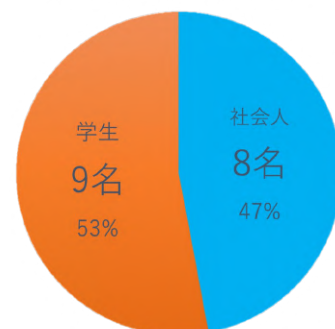
年代別



男女別



内訳



内訳詳細

スタッフ		
スタッフ	合計	15
	男性	6
	%	40.%
	女性	9
	%	60.%
	一般	8
	学生	9
(内男性)	1	14.%
(内女性)	6	86.%

内訳について

○登録上は学生が多いが、多忙な学生が多く、実際日毎には、一般スタッフの方が多かった。

○若手のスタッフが多い。30代の在籍者がいない。40代・50代の在籍者が各一人ずつ、定期的に参加している状況。

○登録上は10名以上いるが、実際の活動は、なかなか都合がつかない人もおおく、2~4人のスタッフ数であることが多かった。

○多くが彦根市内に在住。学区は離れている人が多い。市外在住者は2名。(いずれも滋賀県内)



■居場所事業

2022年：57回開催（2022年1月～2023年3月）

登録児童数：32名、平均参加者数：6名、のべ参加者数：294名

登録スタッフ数：15名、平均参加者数：4名、のべ参加者数：126名

月4回程度開催しました。今年度からスタッフや子どもたちが「行きたい人がいたら開ける」というシステムに変更すると、毎週末にスタッフや子どもたちがあけるようになりました。

毎週あるこの時間を楽しみに、子どもたちやスタッフが来てくれています。



○(例)バブルアートに挑戦！（2023年3月5日）

学生スタッフが、ストローと絵の具を使って、模様を描く「バブルアート」を楽しむ企画を実施しました。



■子ども食堂

上記あそび家くまぐま内で実施（併設型子ども食堂）しました。
季節やリクエストに応じて、子どもたちも一緒になって作ることもありました。

○子ども食堂・昼食提供 ○クリスマスパーティー ○お弁当をつくろう！



昼食提供は「ごはん家くまぐま+」や「麺類をかべ」から昼食をいただいたり、子どもたちも一緒に会場で作ることもありました。

○特製豚丼



○スパムおにぎり



○鳥居本ハーブ園のクッキー



○たまご焼き



○ペッパーランチ



○たこパ



綺麗に作ることが得意な児童がよく調理しています。



■ 野外体験・遠足

2022 年は以下の活動を実施しました。

	内容	
2月20日	イチゴ狩り	ヨコタ農園（滋賀県長浜市）
3月18日		
4月2日	パン作り・他団体と子どもたちの交流	虹の家（長浜市）
4月7日	春遠足	長浜市方面
5月29日	琵琶湖感謝祭清掃	彦根市松原浜
6月10日	染め物体験	ファブリカ村（滋賀県東近江市）
7月3日	採蜜体験・ハーブショップ訪問	木工房 328・香里（彦根市）
10月2日	琵琶湖感謝祭清掃	彦根市松原浜
10月16日	稲刈り・農業体験	渡部建具店（滋賀県米原市）
10月30日	銀座まちなかハロウィン	銀座商店街（彦根市）
11月6日	秋遠足（京都方面）	京都市方面
11月23日	ルーフトップピクニック	銀座商店街（彦根市）
1月29日	イチゴ狩り	ヨコタ農園
2月19日	チアダンス体験会	心身の健康マルシェ（彦根市）
3月5日	琵琶湖感謝祭清掃	彦根市松原浜

■ イチゴ狩り（ヨコタ農園/滋賀県長浜市）【新規】

ヨコタ農園さんにてイチゴ狩りをさせていただきました。



■ 染め物体験（ファブリカ村/滋賀県東近江市）【新規】

滋賀県東近江市（能登川地区）にあるファブリカ村さんに寄せていただきました。豊田自動織機が動くところを見せてもらったり、染め物体験をさせていただきました。





■採蜜体験・ハーブショップ訪問（木工房 328・香里/滋賀県彦根市鳥居本地区）【新規】
 地元彦根・鳥居本ではちみつが撮れる！日本ミツバチの養蜂家さんのところへ寄せていただき、採蜜体験をさせていただきました。その後はハーブショップ「香里」さんで、お昼をいただき、いろんなハーブを見せていただきました。



■稲刈り体験【昨年度より継続】

昨年に引き続き、渡部建具店さんで稲刈りをさせていただきました。今年は culcufarm として新たなスタートを切られた田畑で、機械を使わず稲刈りや脱穀をさせていただきました。お芋や枝豆の収穫もさせていただきました。



■銀座まちなかハロウィン【新規】

ハロウィン風に仮装した子どもたちが、銀座商店街の各店舗を回って、お菓子をもらう「銀座まちなかハロウィン」を初めて行いました。各店舗で「トリック・オア・トリート」の呪文を唱えて、お店の方からお菓子をいただきました。この企画は依頼した全ての店舗（12店舗）から協力いただき、「可愛かった」「来年もやってほしい」と好評でした。



■琵琶湖感謝祭清掃

彦根市内外の有志・企業・市民団体が参加する、彦根市松原浜の琵琶湖の清掃活動に、小学生2名とスタッフ2名が参加しました。



■学習支援事業

4月より午前中の時間を活用して、学習支援を行いました。

各家庭から宿題を持ってきて取り組みました。わからないところはスタッフに教えてもらえるよう、学習支援の経験があるスタッフを配置しました。



■制作活動

8月からスタートしました。

○イラスト制作

イラスト制作が得意なスタッフの指導の下、イラスト制作を実施しました。子どもたちと、スタッフにより、マスコットキャラクターの制作や、ロゴマークの制作も行いました。



(地域連携事業)

社会福祉法人グローさんが主催する「糸賀一雄記念賞音楽祭」にてステージの背景で使用される、イラストの制作をさせていただきました。



○eスポーツ

情報技術担当のスタッフと中学生の子どもたちが中心となってeスポーツを始めました。



○メディア制作

長浜市で活動する NPO 法人 STUDIO こほくスタッフ指導の下、カメラで動画制作を行っています。

○手芸（おしえて！地域の先生）

彦根市内の地域の方を講師として招いて、以下の手芸に取り組みました。

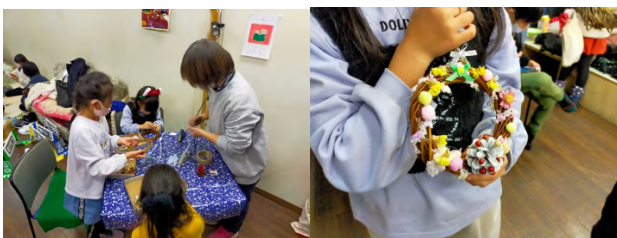
●新聞紙で凧づくり



●風鈴作り

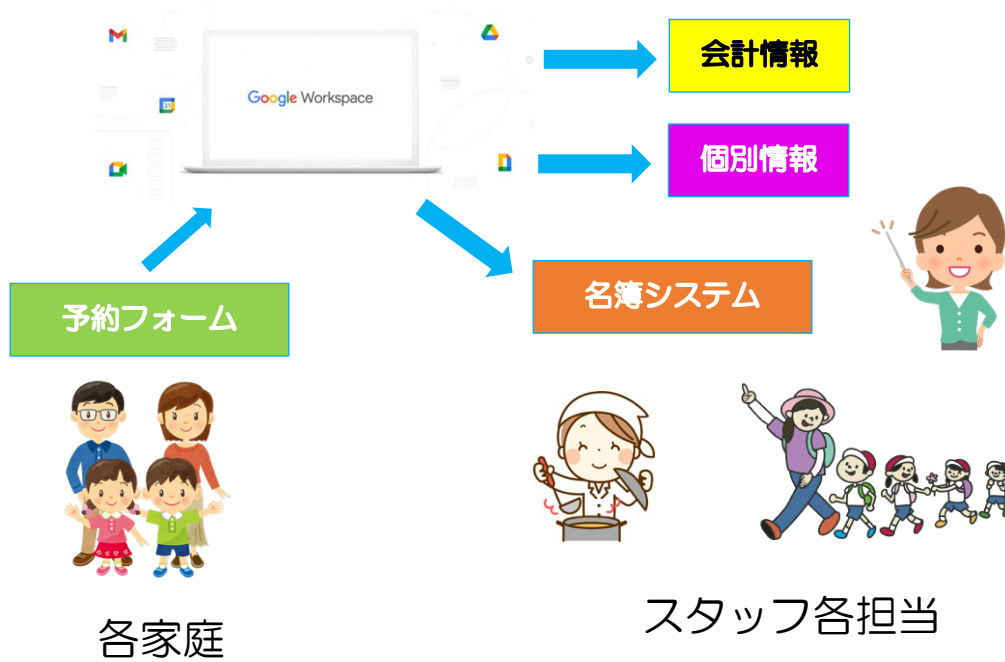


●クリスマスリース作りワークショップ（彦根ゲストハウス淡海）



■GoogleWorkSpace の導入

○GoogleWorkSpace を用いた昼食や体験の予約システム、名簿管理を導入しました。遠足や体験活動の際の、児童の人数確認にも使用しました。



■メディア・広報

○中日新聞 ○彦根経済新聞 ○ボラカフェ彦根（彦根市社会福祉協議会）
→銀座まちなかハロウィンなど



2022 年は居場所を 47 回開催しました。今年からは「開きたい人がいたら、開けられる人で開ける」という方法に切り替えて開催したところ、ほぼ毎週末空いている状態となりました。毎週欠かさず来てくれる子どもやスタッフも増えてきたり、毎週あるこの時間を楽しみにしてくれる子もいました。

子ども食堂も、ほぼ全ての回において、併設開催しました。今年も「ごはん家くまぐま+」のスタッフと一緒についたり、近江チャンポン発祥の店「麺類をかべ」さんから昼食提供をいただきました。他にも児童やスタッフが一緒につくることもありました。

地域連携・体験については、2022 年度からは、彦根市内を中心に進めてきました。身近な地域にある素敵なものを知ってもらいたいと、ハチミツ採りに参加させていただくなどしました。また会場のある彦根銀座商店街との交流を進めました。10 月には商店街の各店舗へ予め配ったお菓子をもらいに、子どもたちがハロウィンの姿に仮装し、商店街をまわる「銀座まちなかハロウィン」を開催しました。報道関係者も訪れ、商店街からも「またやってほしい」と好評の企画でした。

子どもたちのそれぞれの個性や得意なことが活かしやすいよう、イラストや e スポーツなど、制作活動ができる時間も設けました。専門のスタッフを配置し、子どもたちと一緒に取り組みました。

課題点としては、やはり財政的な面です。本年度はこの他に滋賀県の「子ども食堂緊急助成」をいただきましたが、彦根市内からの財政的な支援はほぼありません。(過去にもほぼありませんでした) やはりどの人にも、身近に安心して過ごせる居場所は必要不可欠であること、そういった場を地域で支える仕組みづくりが早急に行わなければならないと考えています。



第3期 会計報告書

<会計期間： 2022年 1月 1日 ～ 2023年 3月 31日>

下記の通り会計報告いたします。

2023年 3月 31日

収入合計	331,993円
支出合計	331,993円
差引残高	0円

1. 収入の部

	摘要	予算	備考
1	助成金収入	328,913	大和証券福祉財団ボランティア活動助成：224,000円 滋賀県社会福祉協議会子ども食堂等緊急助成：95,433円 子ども食堂安全安心加入事業：9,480円 城東小学区青少年育成協議会：10,000円
2	事業収入	12,560	体験活動参加費 商店街連携事業による収入
	合計	331,993	

2. 支出の部

	摘要	決算	備考
1	食費	161,211	昼食提供、調理委託費、菓子類、飲料など
2	備品費	56,451	玩具、衛生備品費、消耗品費
3	会場費	39,500	銀座芝居小屋シェア料・光熱費
4	体験・地域連携事業	50,350	体験活動移動費・交通費、謝礼金、体験・委託費用
5	保険費	11,420	ボランティア活動保険費
6	通信・広報費	5,231	フライヤー印刷費・郵送費
7	助成金返金予定額	5,700	
8	第4期繰越金	2,130	
	合計	331,993	

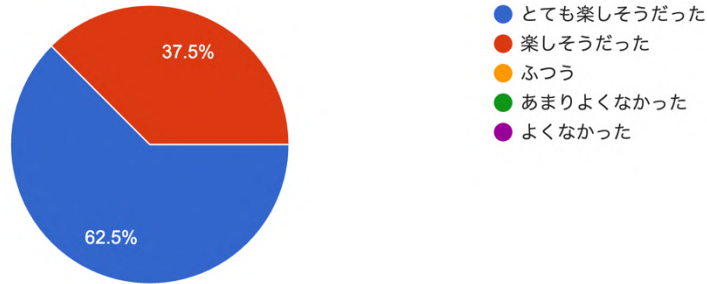


■第三期活動評価

●保護者の部

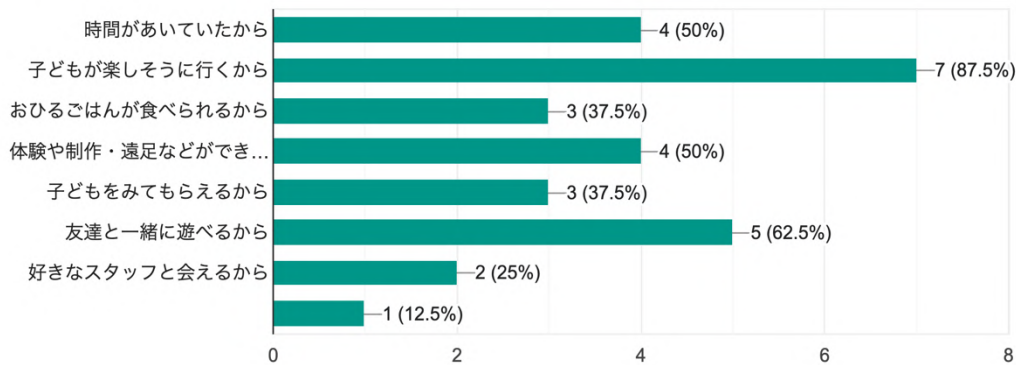
くまくまに参加されて、お子さんの様子はいかがでしたか？

8件の回答



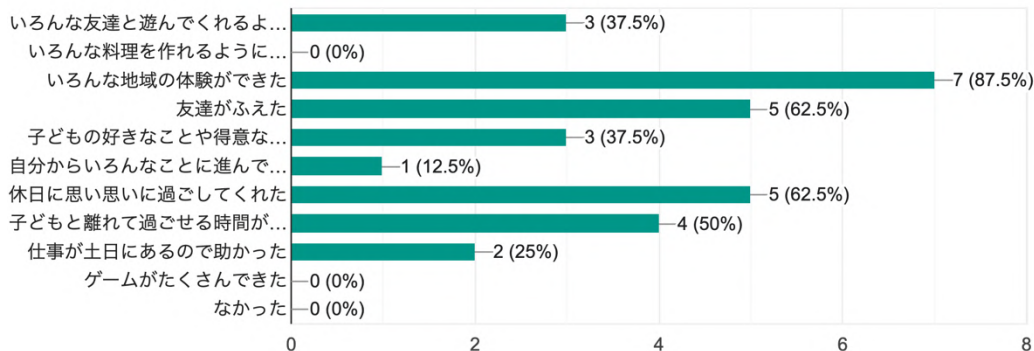
行くようになったきっかけは？

8件の回答



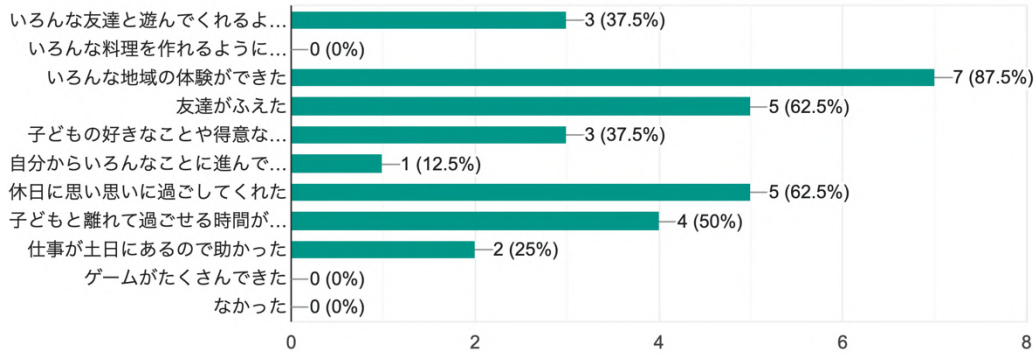
よかったことがあれば教えてください

8件の回答



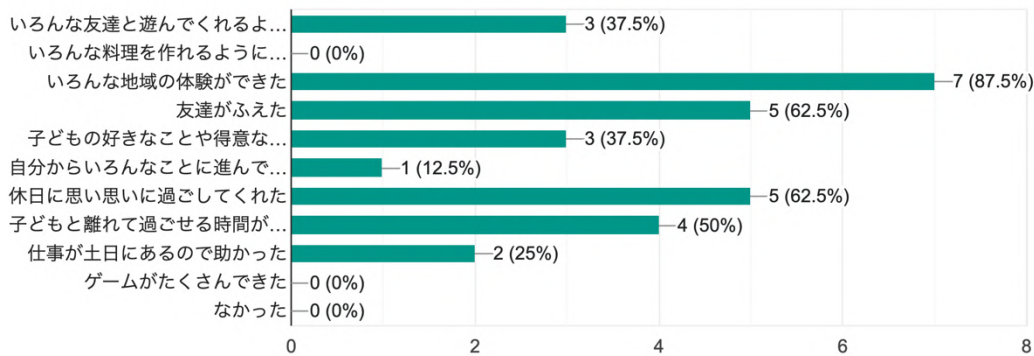
よかったことがあれば教えてください

8件の回答

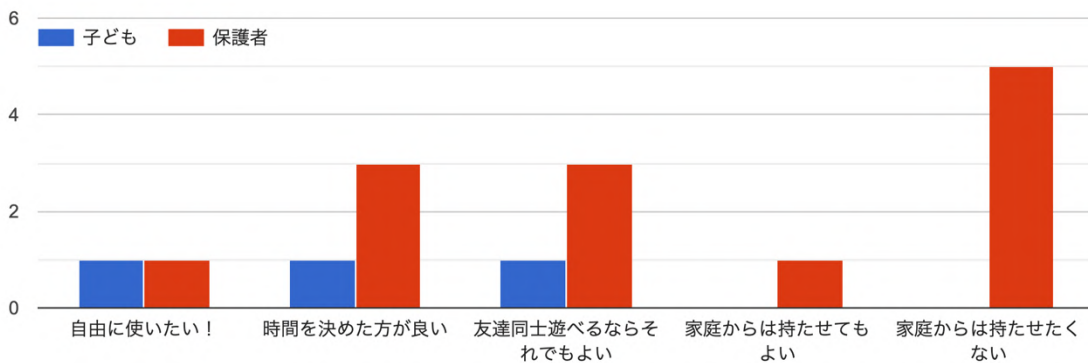


よかったことがあれば教えてください

8件の回答



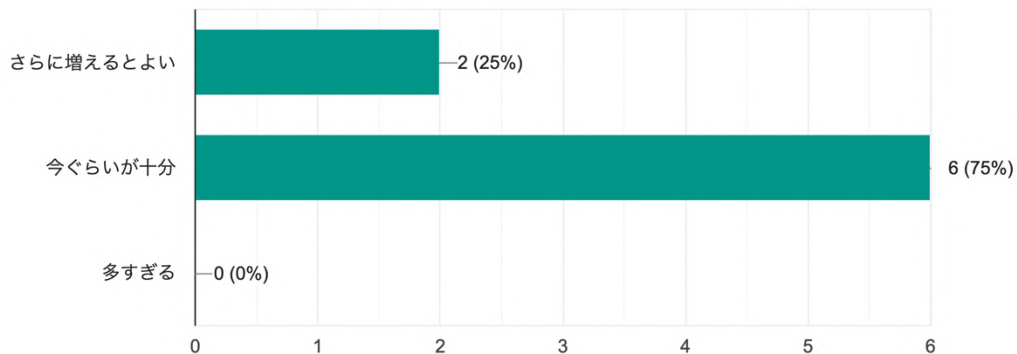
ゲームについてお尋ねします。



身近な地域に子ども食堂や子どもたちの居場所は十分ありますか？
またその頻度はどの程度が望ましいですか？

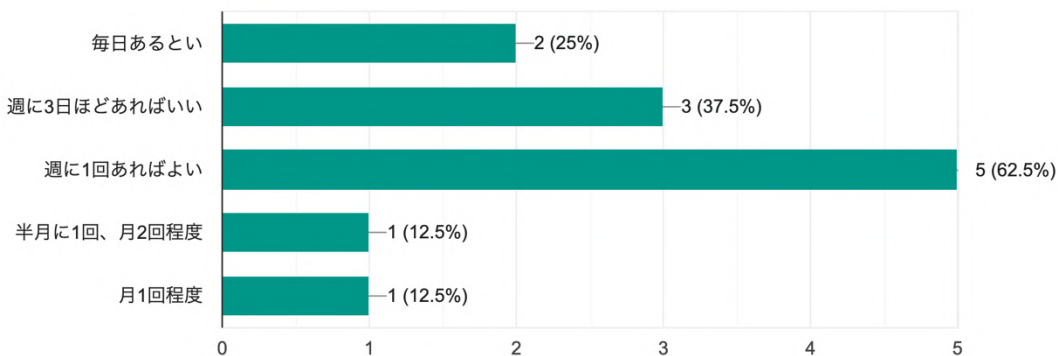
居場所や食堂の数

8件の回答

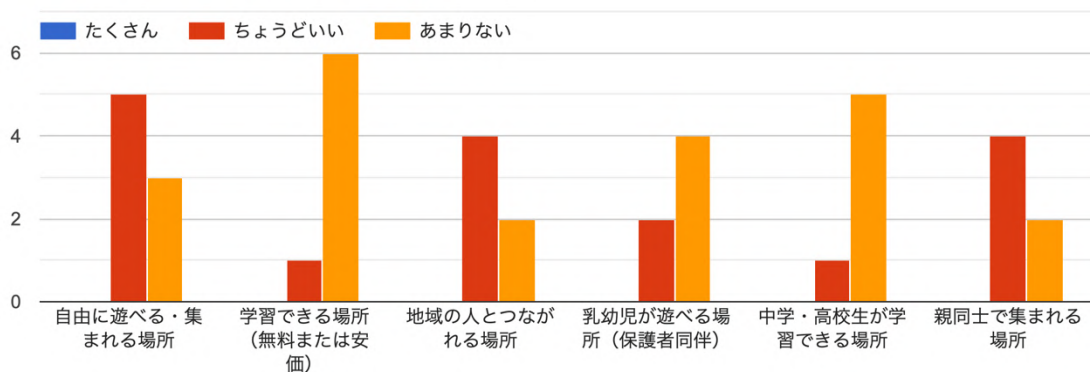


頻度について

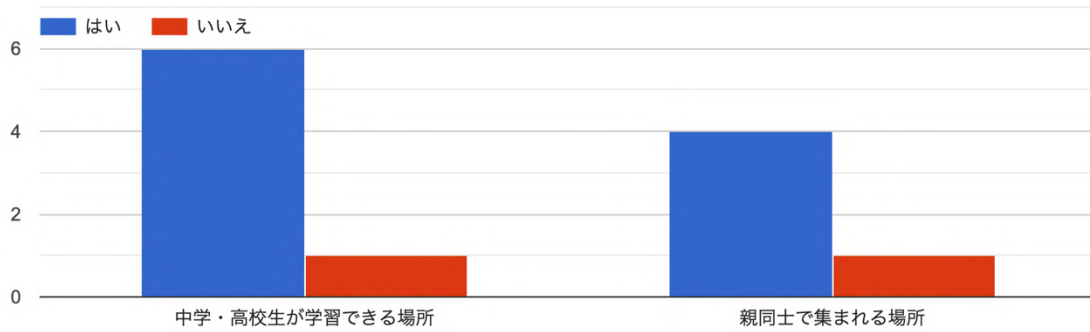
8件の回答



彦根市内の状況について、最も近いと感じるものを選んでください

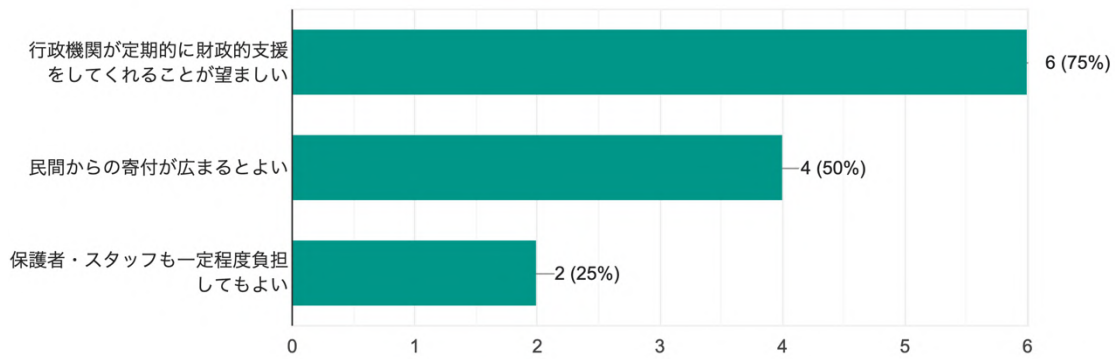


以下のものがあれば利用したいですか？

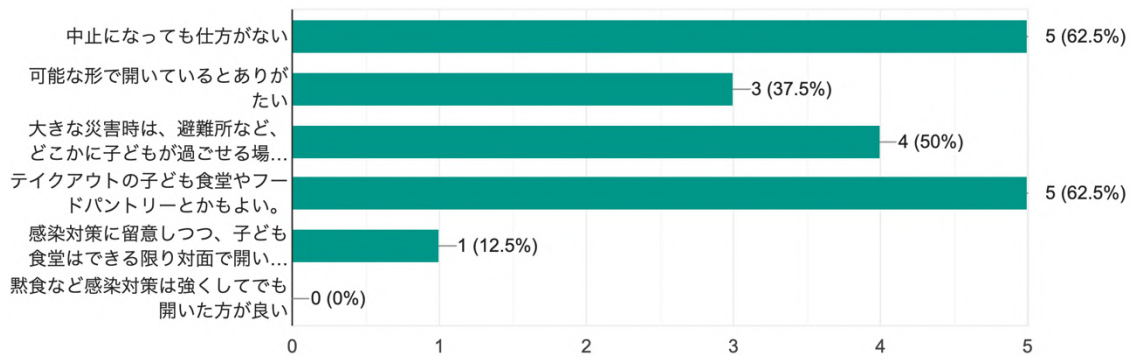


財政運営について

8件の回答



感染症が広がったり、災害が発生した場合、
どのような居場所活動があるといいですか？



○参加児童の保護者から

○行くきっかけについて

- ・もともとくまくまに通われていた子がうちの子どもの友だちで、誘われたのが一番の理由ですが、その子がいなくても行くようになるくらい居心地がよいようです。
- ・支援級のためたくさんの友だちと遊ぶ機会をつくってあげたかった
- ・子どもとの交流を楽しんでいる
- ・家で兄妹と過ごすだけでなく、ほかの人との関わりが増えると良いなと思ったから

○来てよかったこと

- ・中学生になると休日あまり家族でいたがらないし、かといって部活もなく、アクティブでもない家でだらだら寝てることが多かったのが、くまくまがある、と思うと動けるようで、こちらも安心して行かせることが出来るので助かっています。
- ・家だと小さな子がいて、あまり好きなことをさせてあげられないのでありがたいです。

○気になること

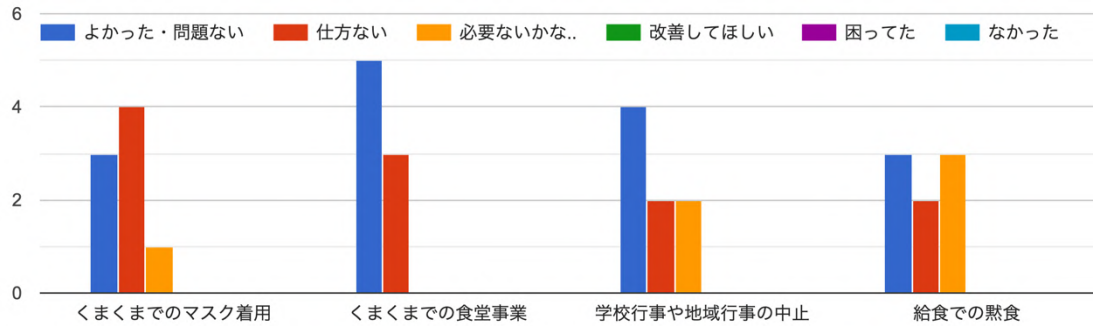
- ・学業との両立が難しい

○ゲームについて

- ・ゲームに関しては悩む所です……本当はせっかくくまくま行くんだからゲームから離れて……と思ってはいたのですが……持参してもいいけど、時間を決めるとか……ずっとゲームやりっぱなしでは無くて、違う事でも楽しめる様になって欲しいと思う所です
- ・ゲームはスタッフが持ってくるのは良いが小学生が持ってくるのはあまり良くないのでは

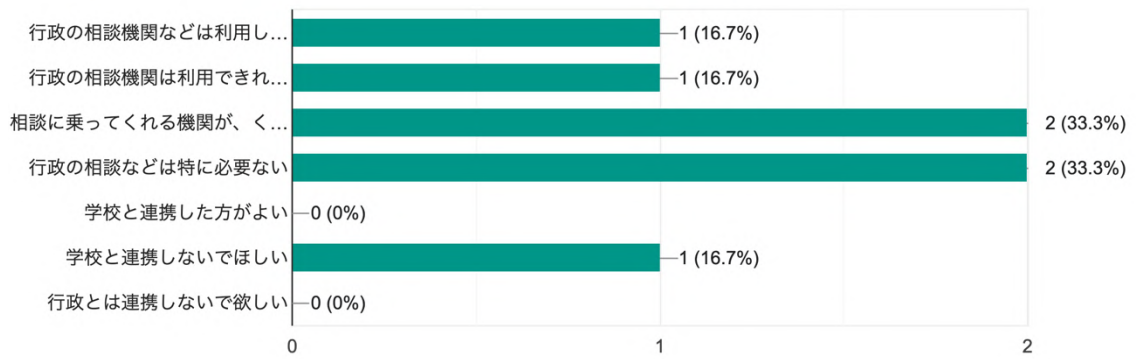


コロナ禍について



行政・学校との連携について

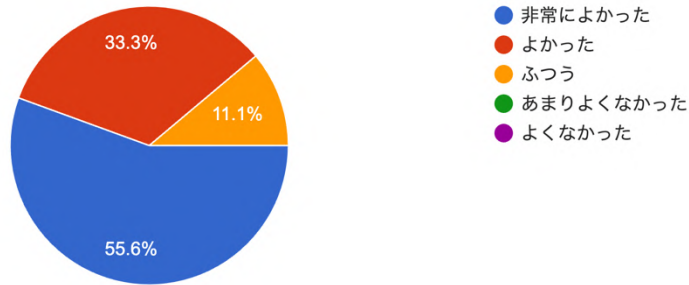
6件の回答



●スタッフの部

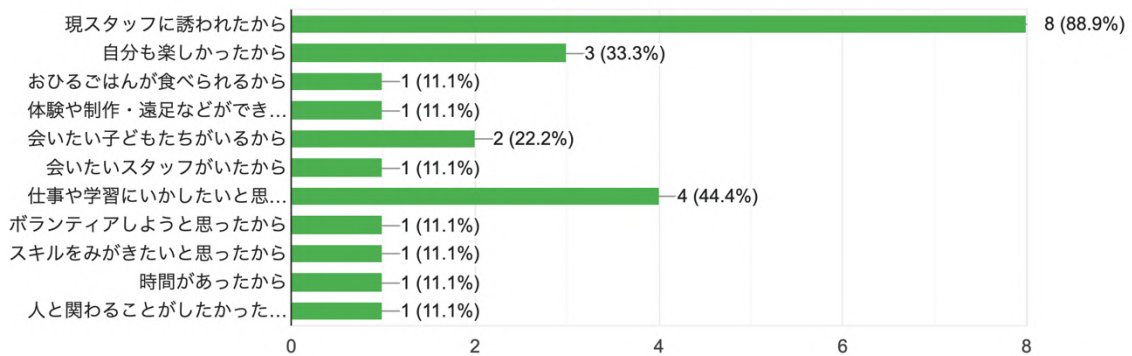
くまくまに参加してどうでしたか？

9件の回答



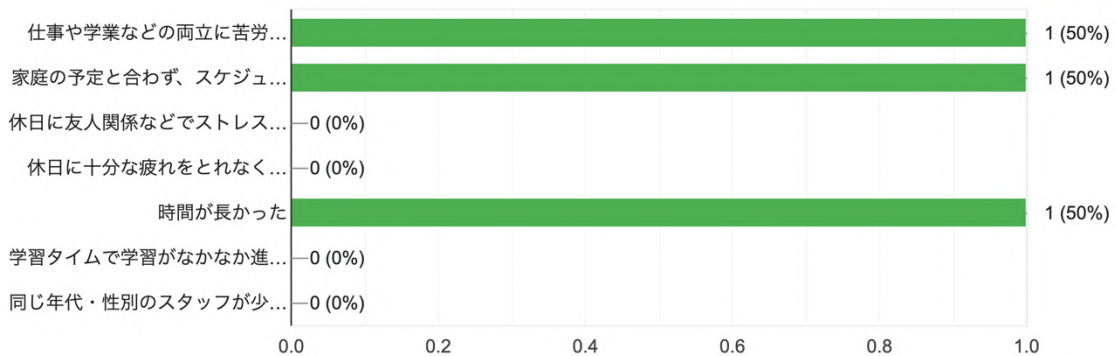
行くようになったきっかけは？

9件の回答

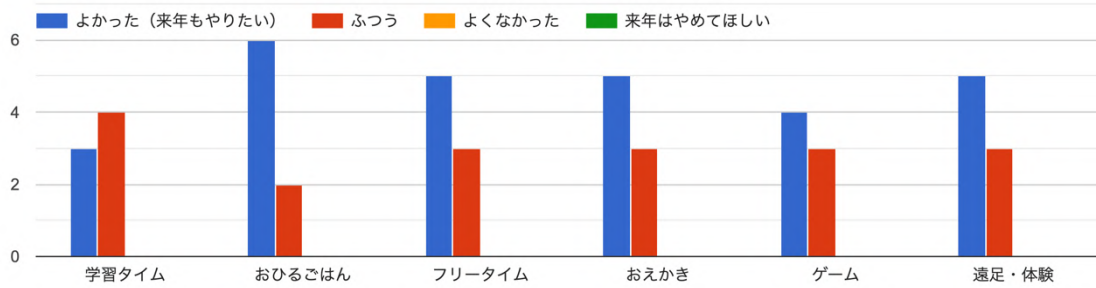


困ったことがあれば教えてください

2件の回答

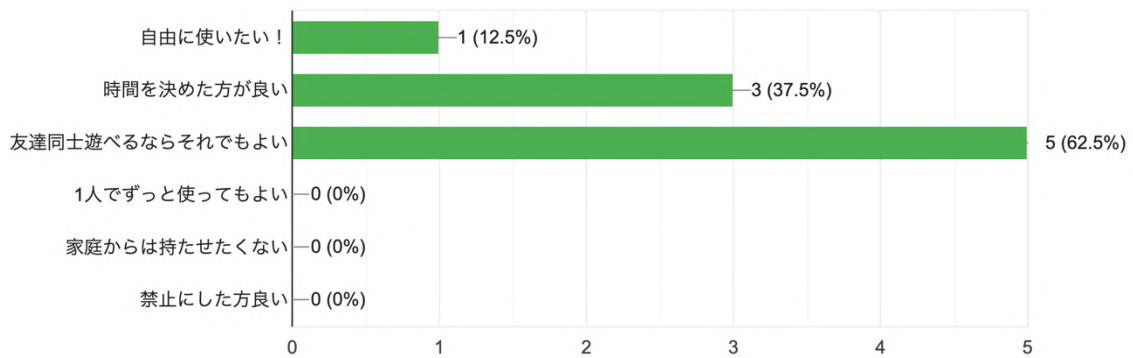


各活動について



ゲームについてお尋ねします。

8件の回答



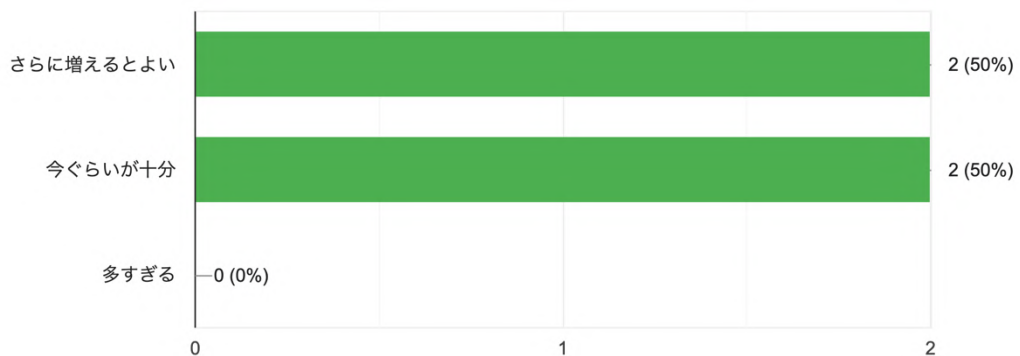
●学生スタッフのみ

身近な地域に子ども食堂や子どもたちの居場所は十分ありますか？

居場所や食堂の数

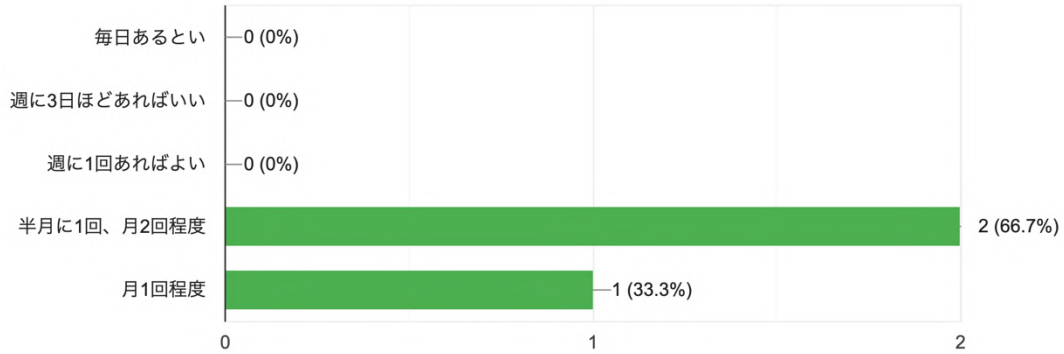
またその頻度はどの程度が望ましいですか？

4件の回答

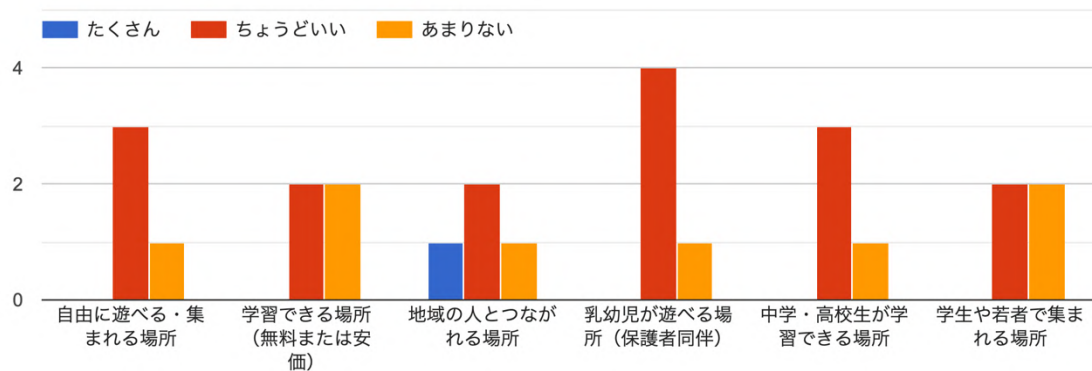


頻度について

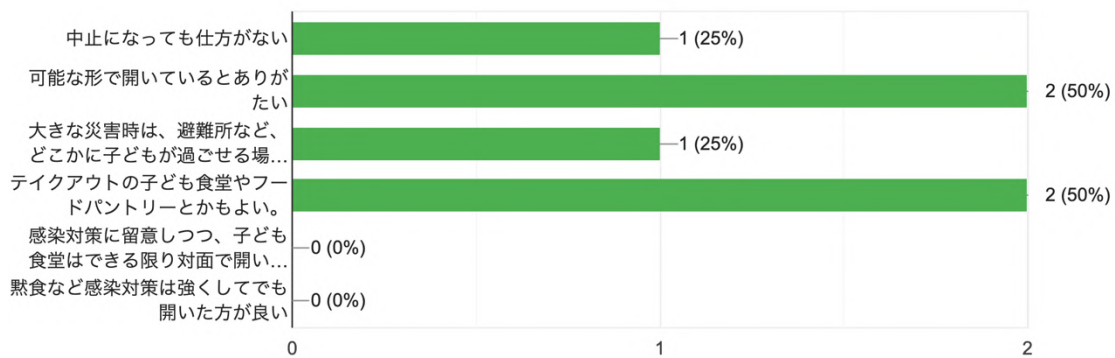
3件の回答



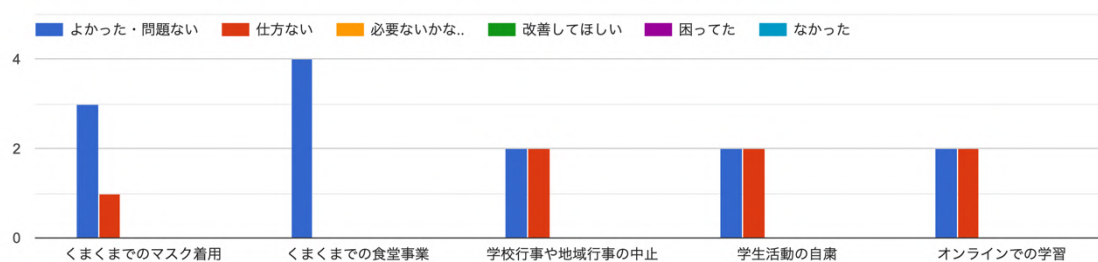
彦根市内の状況について、最も近いと感じるものを選んでください



感染症が広がったり、災害が発生した場合、どのような居場所活動があるといいですか？

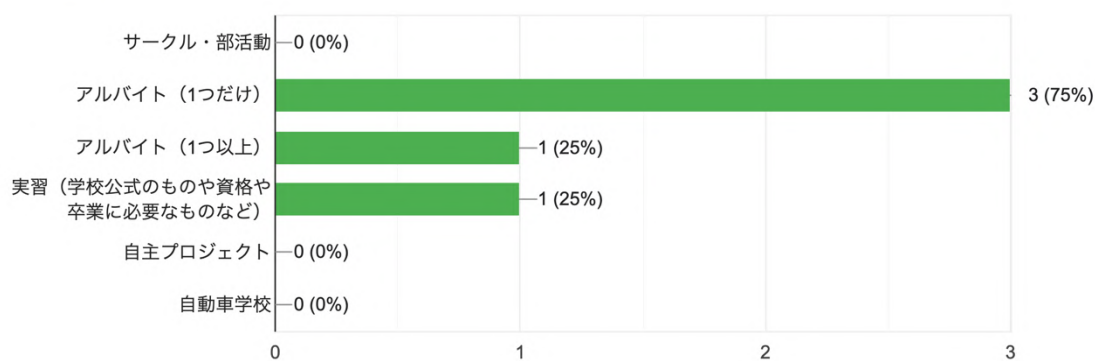


コロナ禍について



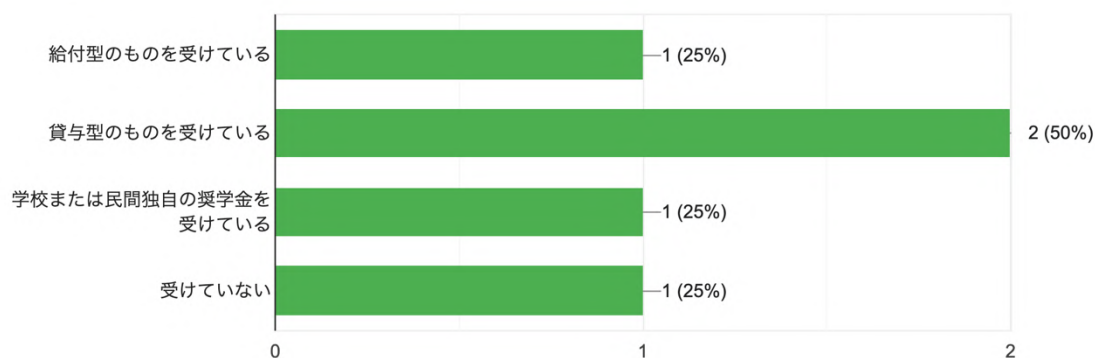
今取り組んでいることについて教えてください

4件の回答



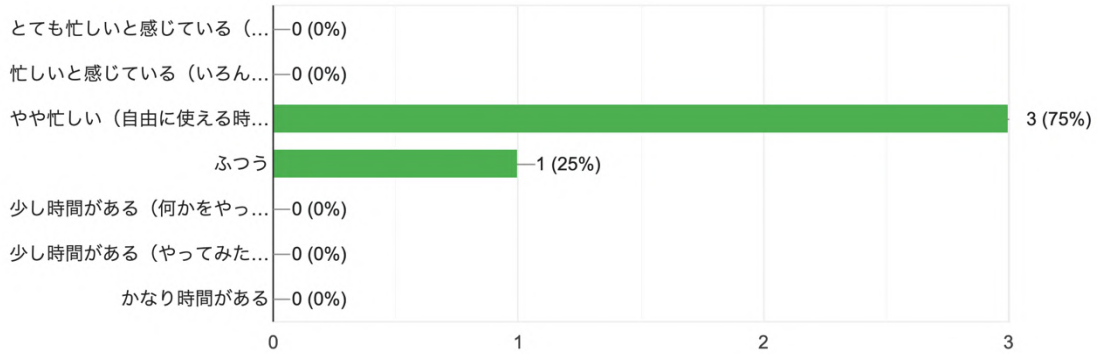
奨学金について

4件の回答



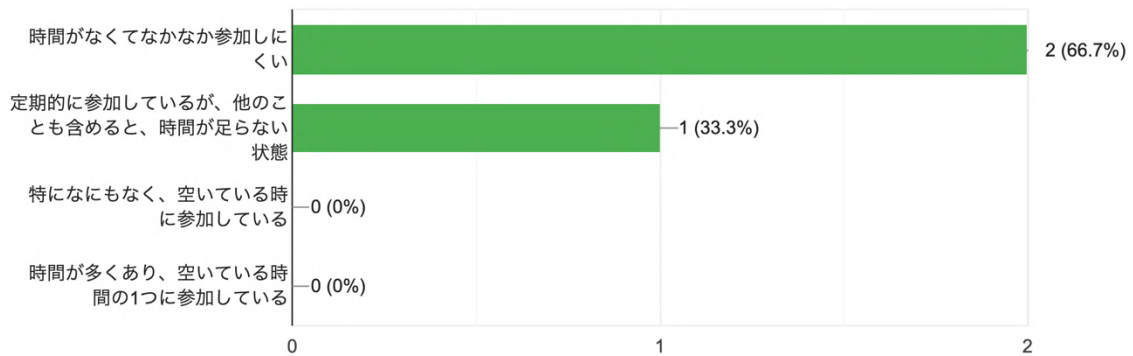
学生の時間について

4件の回答



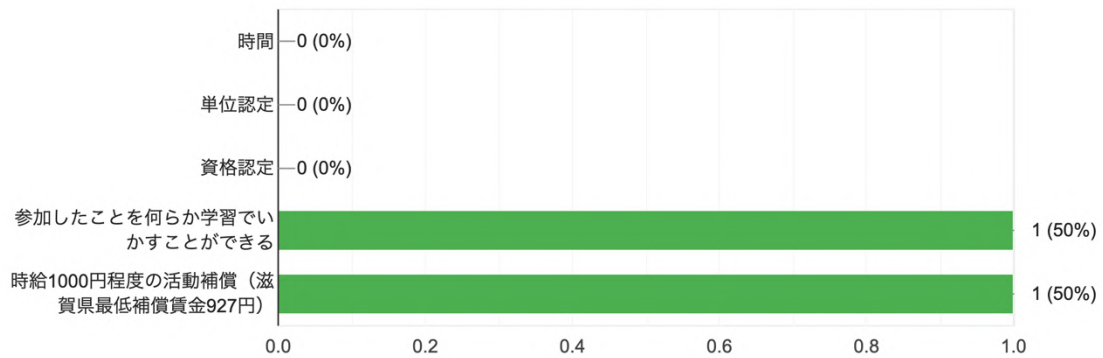
学生生活とボランティア活動について

3件の回答



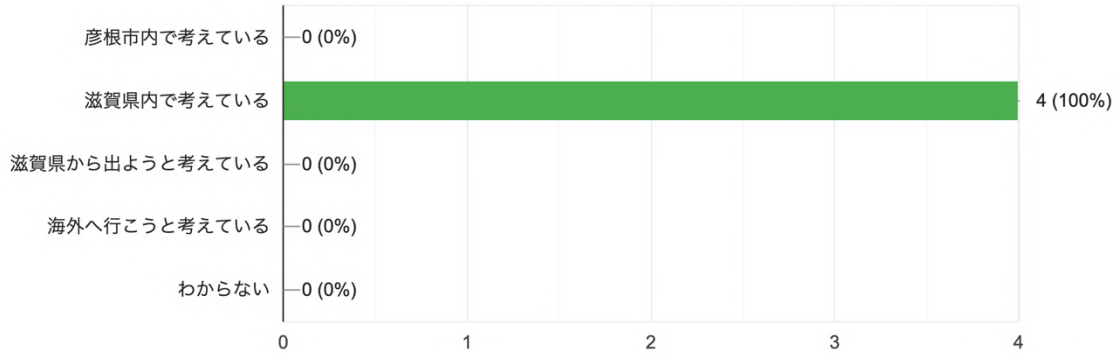
これがあると参加しやすい...!

2件の回答



卒業後の進路について

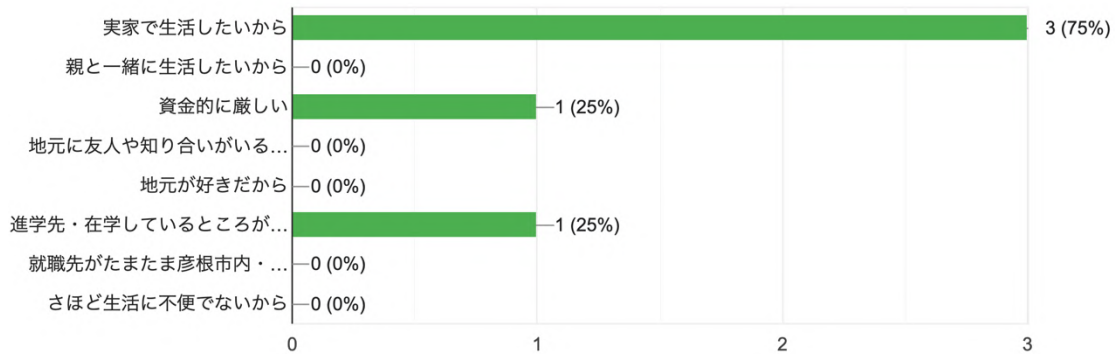
4件の回答



※回答していない学生スタッフ2名が、滋賀県外へ進学。いずれも進学先が滋賀県外のため。

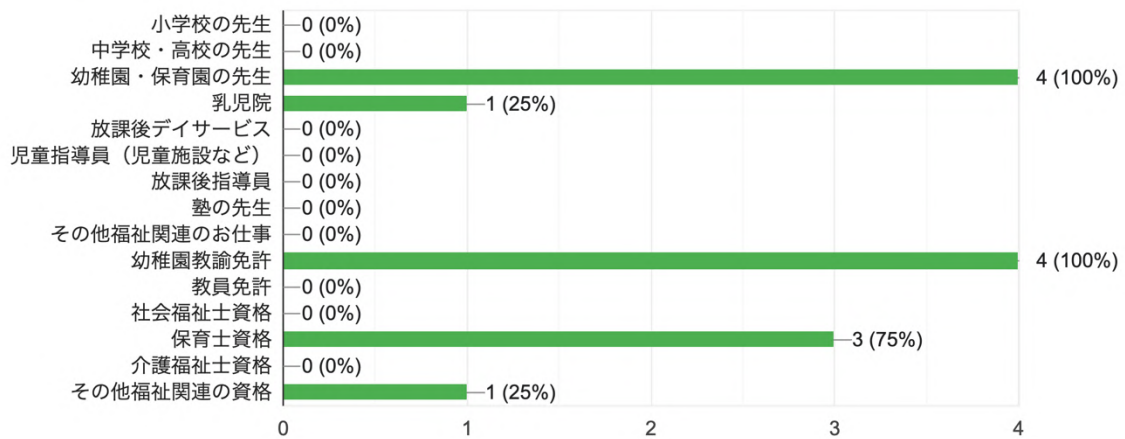
(市内・県内に残る方へ)

4件の回答



取得したい資格やなりたいものなど

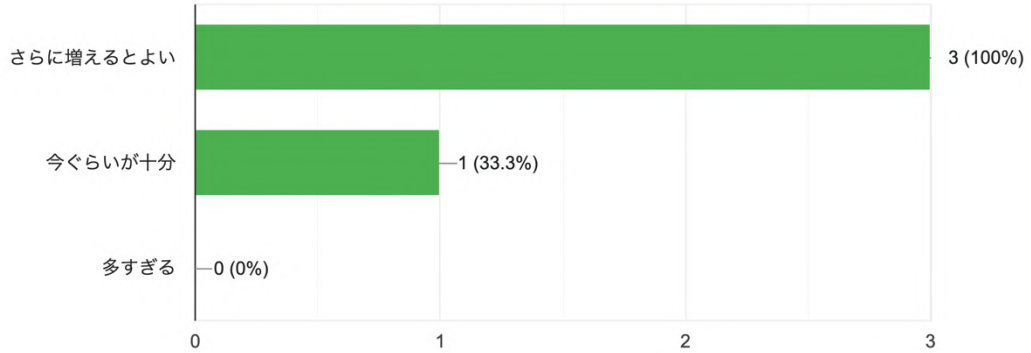
4件の回答



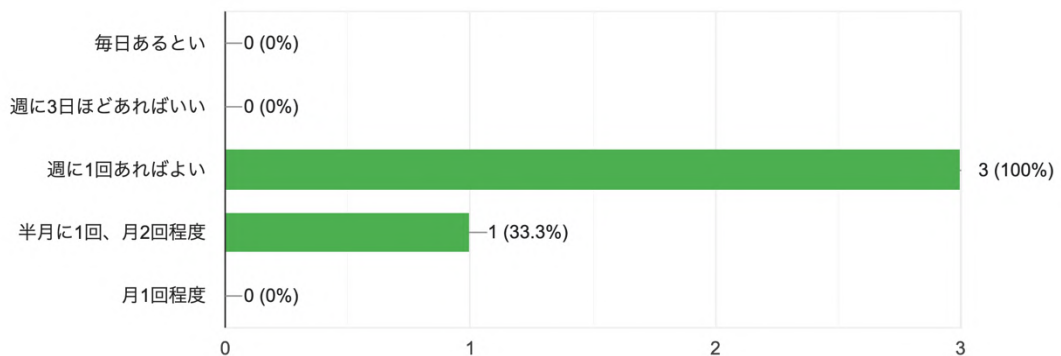
●一般スタッフのみ

居場所や食堂の数
3件の回答

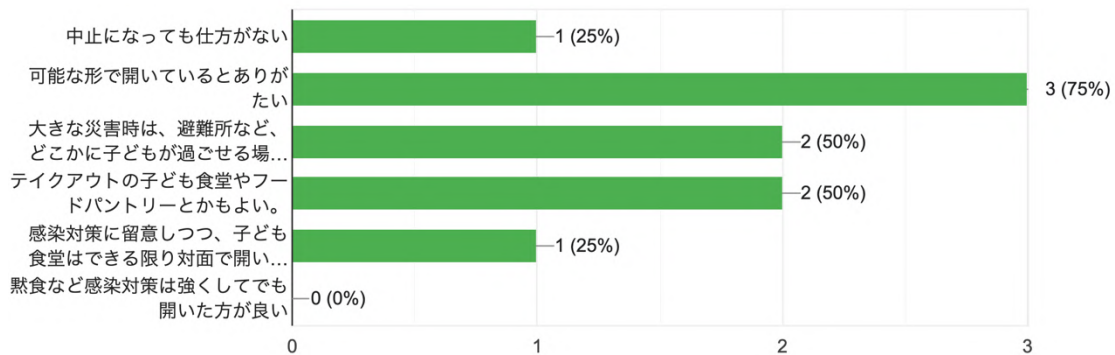
身近な地域に子ども食堂や子どもたちの居場所は十分ありますか？
またその頻度はどの程度が望ましいですか？



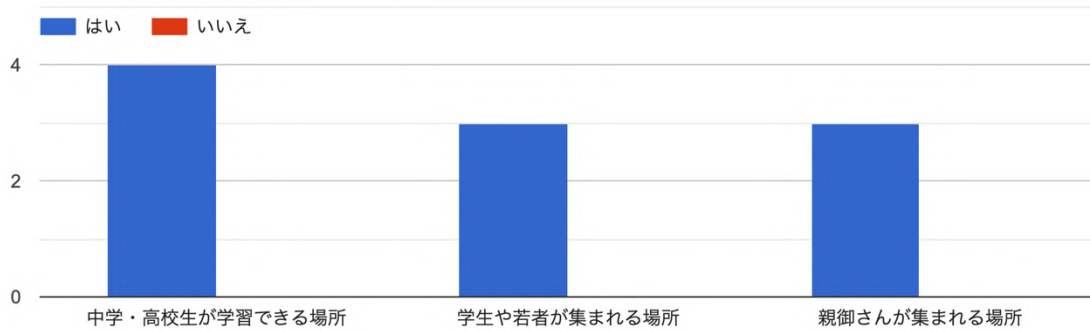
頻度について
3件の回答



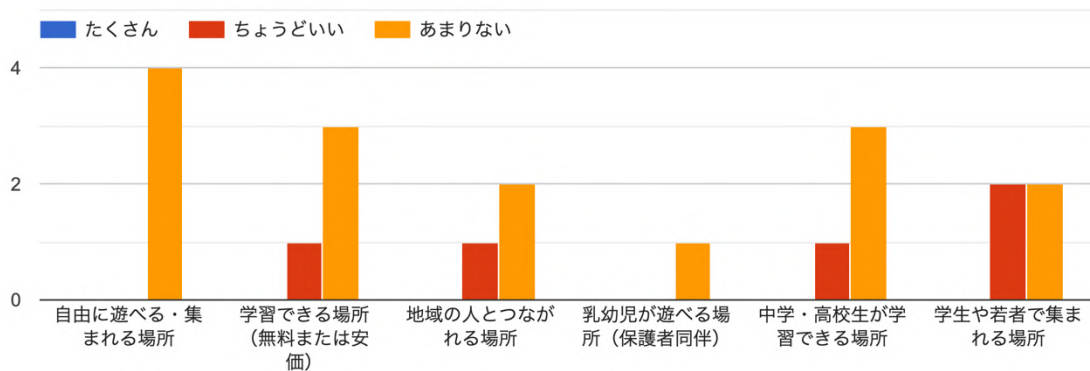
感染症が広がったり、災害が発生した場合、
どのような居場所活動があるといいですか？



以下のものはあった方がいいですか？

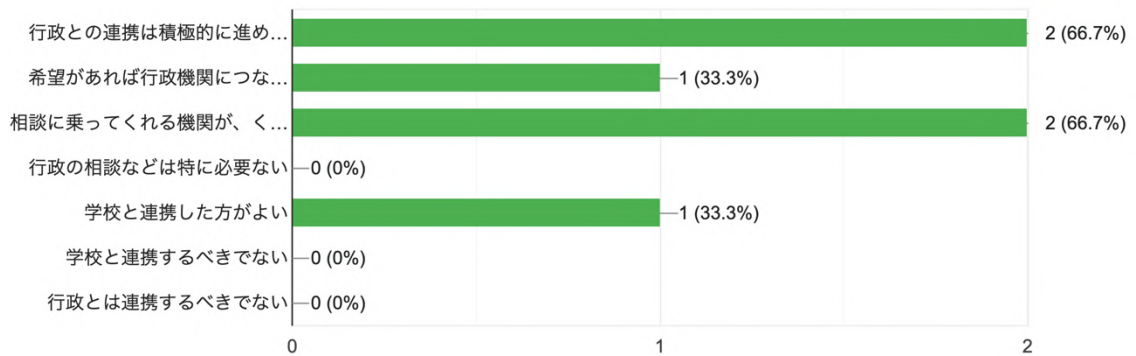


彦根市内の状況について、最も近いと感じるものを選んでください



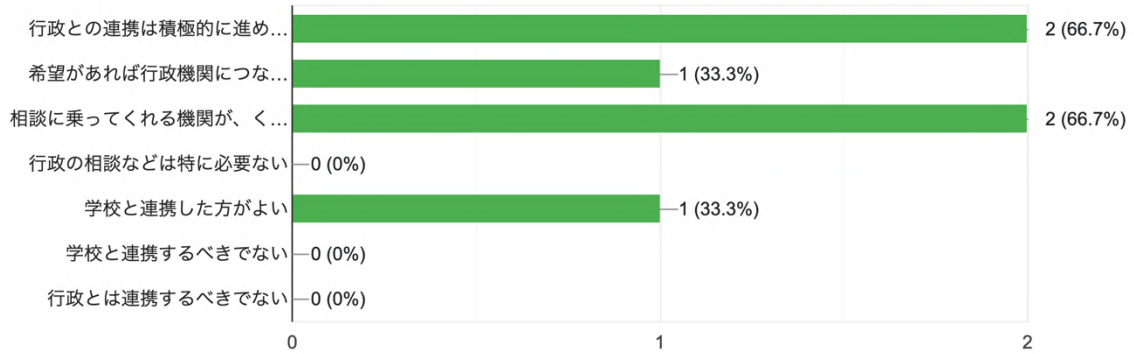
行政・学校との連携について

3件の回答



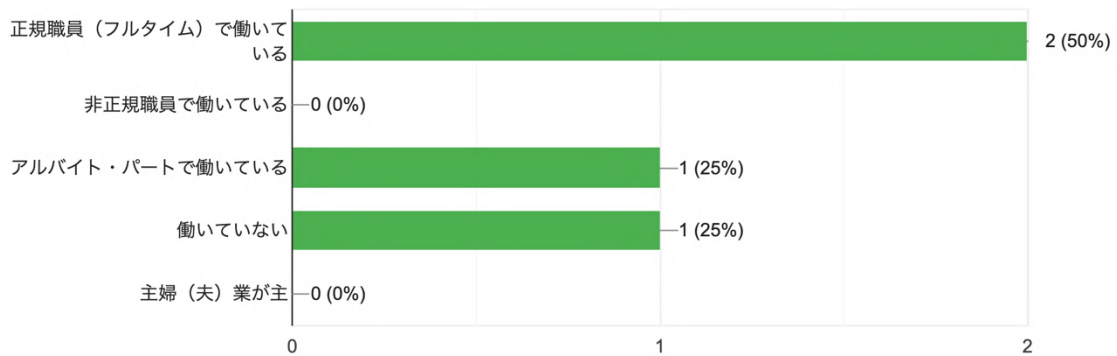
行政・学校との連携について

3件の回答



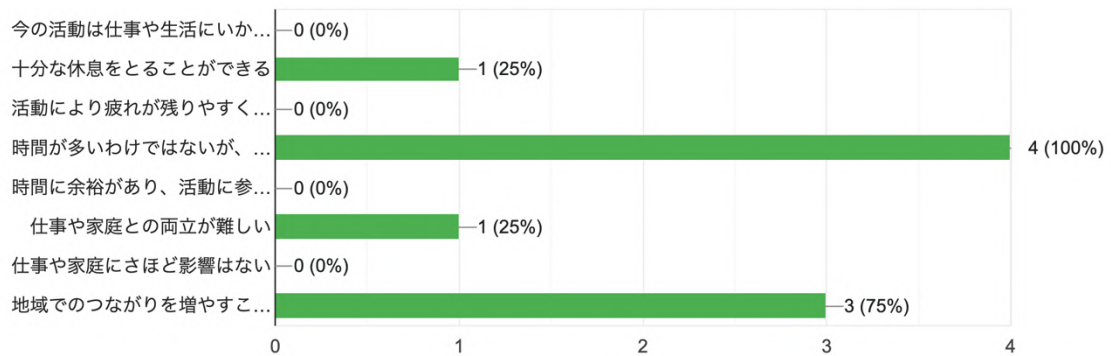
現在の生活状況について

4件の回答



当てはまるものを選んでください

4件の回答



応援いただいた方

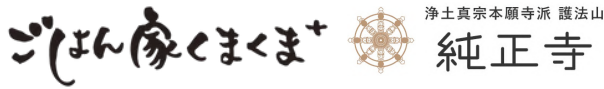
助成で支援いただいた方

大和証券福祉財団

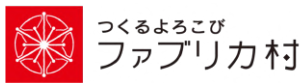


城東小学区青少年育成協議会

活動を支援いただいた方



体験活動・地域連携でご協力いただいた方



(彦根銀座商店街連携事業)



麺類をかべ 銀座まちづくり懇談会

六月の水曜日

正木屋商店

ミクチャギンザ

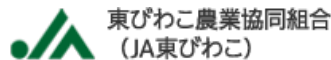
ワインセラー
ヤマガタヤ

ミツワ食堂

彦根銀座街商
業協同組合

物品でご支援いただいた方

フードバンクひこね



※一部は滋賀県社会福祉協議会・彦根市社会福祉協議会を通じてご支援いただきました。

